

〈日本 SPF 豚研究会誌〉

「All about SWINE」投稿のお願い

SPF 豚の普及に役立つ調査・研究論文および防疫、飼養、流通、消費等に関する解説・資料等の原稿を募集しております。下記要領にご留意の上、ご投稿下さい。

1. 原稿は原則としてワープロを使用してA4用紙に横書きで作成して下さい。手書きの場合は、400字詰原稿用紙を使用して下さい。
2. 原稿の1枚目には表題（英文表題も併記）、投稿者名（ローマ字表記も併記）、所属機関名（郵便番号および住所）を記して下さい。2枚目以降の記述形式は特に定めませんが、資料等を引用した場合は末尾に「参考資料」または「引用文献」の項目を設けて下さい。
3. 表は原則として縦罫線を使用せず簡潔なものとし、また図はそのまま印刷が可能なように白色紙または方眼紙に黒色で記入して下さい。写真は原寸印刷が可能なように原則として横7cm程度、縦7cm以下として下さい。
4. 原稿の送付先は「〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 岐阜大学大学院連合獣医学研究科 応用獣医学連合講座 浅井鉄夫」までお願いします。

〔編集後記〕

長い間、飼料添加物として使われてきたコリスチンが、平成30年7月から使用できなくなります。また、豚の下痢の治療薬としてのコリスチンは、平成30年4月から、第一次選択薬が無効の細菌性下痢症に限って使用することとなります。畜産分野で使用する抗菌剤や抗菌性飼料添加物によって薬剤耐性菌が増加することを防止するため

の対策です。下痢や呼吸器疾患を発病させないための、飼養衛生管理やワクチネーションの重要性が高まっています。SPF豚協会が実施したワクチンのアンケート調査は大変興味深い内容でした。有効性の高いワクチン、作業性の良い多価ワクチン、安価なワクチン、すべてを兼ね備えている夢のような製品が開発されると、販売する側も使用する側も、そして豚肉を食べる人たち、多くの人が幸せになります。

柏崎先生は、浪岡先生とともに、SPF養豚という夢のようなストーリーを知恵と情熱で実現しました。

「夢かもしれない、でもその夢を見ているのは、きみ一人じゃない、仲間がいるのさ」

忌野清志郎・イマジン

「All about SWINE」

第52号

2018年2月発行 定価1,500円

発行者 小林 秀 樹

編集者 浅 井 鉄 夫

発行所 日本 SPF 豚 研 究 会

事務局 (株)伊藤忠飼料研究所

予防衛生チーム内

〒325-0103

栃木県那須塩原市青木 919

Tel : 0287 (64) 3652

Fax : 0287 (63) 8384